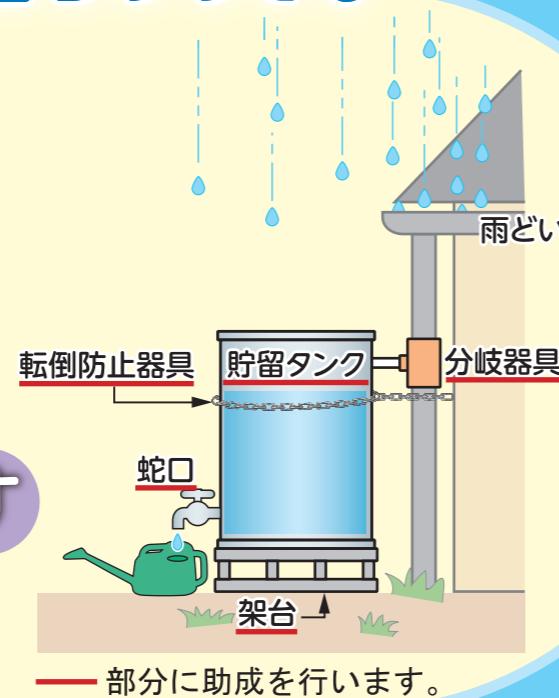


雨水貯留タンクとは

雨水を雨どいから分岐器具によりタンクに流入させ貯めるものです。タンクはお客様ご自身や工務店等により購入・設置いただけます。

助成金制度あります



部分に助成を行います。

雨水浸透まくとは

穴の開いたますから雨水を地中に浸透させることにより、雨水の流出抑制や自然な水循環の再生に寄与するものです。設置工事については、京都市指定下水道事業者にご相談ください。

助成金制度あります



お問い合わせ

京都市上下水道局下水道部管理課 (庁舎7階)

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12

TEL: 075 (672) 7822

受付時間／平日午前8時30分～午後5時15分

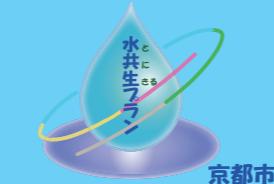


京都市 雨水タンク

Q 検索



または
アクセス



雨水貯留タンクと雨水浸透ますで 京にやさしい水の循環

みやこ

み ゃ

じゅん かん

雨
水
貯
留
・
浸
透



助成金制度あります



京の水をあすへつなぐ
京都市上下水道局



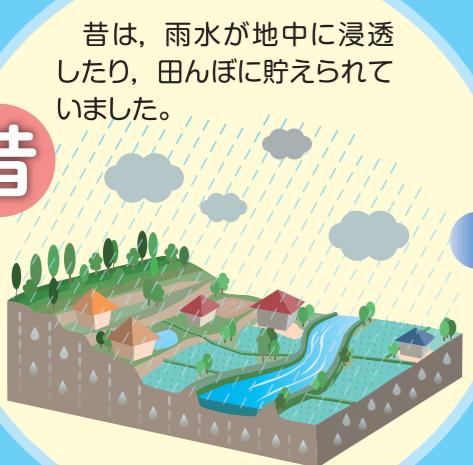
なぜ貯留・浸透施設がいるの？

都市化に伴い、多くの土地がアスファルトやコンクリートに覆われているため、大雨が降ると地中に浸透せず、水路や下水道が溢れやすくなっています。雨水を貯めたり、浸透させることで浸水被害を軽減することができます。

○ 都市化（市街化）による影響

昔は、雨水が地中に浸透したり、田んぼに貯えられていました。

昔



今

現在は、降った雨がすぐに水路や川に流れ出し、浸水しやすくなっています。



近年、全国的に大雨による住宅等の浸水被害が増えています。これからは、河川や下水道の整備だけでなく、まち全体で雨水の貯留・浸透の取組を進めていくことが必要です。ご家庭で雨水の流出抑制にご協力ください。

家庭でもできる貯留・浸透

○ 貯留・浸透による水循環の再生



雨水貯留タンク



雨水浸透ます



こんな効果が期待できます

水害の防止

雨水の急激な流出を抑え、浸水被害を軽減します。



雨水の有効利用

貯めた雨水は花や木の水やりに使用したり、災害時の雑用水として活用できます。



ヒートアイランド現象の緩和

貯めた雨水で打ち水を行うことにより、地面の温度を下げ、ヒートアイランド現象が緩和されます。



潤いと水辺景観の創出

雨水を地中に浸透させることで、普段の河川流量を豊かにし、緑と水辺の創出に寄与します。

